

総務省 平成 25 年度補正予算
「放送及び動画配信プラットフォームを活用した映像コンテンツの海外展開に関するモデル事業」に
『WAKUWAKU JAPAN』がコンテンツ発信のための放送局に決定
日本の各地の魅力を海外へ定常的に発信

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治、以下スカパーJSAT）が運営する海外向け日本コンテンツ専門チャンネル『WAKUWAKU JAPAN』は、総務省の平成 25 年度補正予算による「放送及び動画配信プラットフォームを活用した映像コンテンツの海外展開に関するモデル事業」（以下、モデル事業）の一つとして、衛星放送を活用したコンテンツ発信のための放送局に決定しました。今回の決定により、『WAKUWAKU JAPAN』では、日本各地の魅力を定常的に世界へ発信する番組、「SHIKI-ORIORI(四季折々)」を 11 月より放送を開始いたします。

今回のモデル事業は、請負主体^{※注}である株式会社電通と一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）が連携して取り組むものです。コンテンツの継続的発信を通じ、海外からの観光客誘致や地域経済活性化を目的としています。

『WAKUWAKU JAPAN』での放送は、日本各地の放送局や番組制作会社が製作・放送した優れた作品、または今の地域の状況を伝えるべく新たに製作される地域紹介番組などで編成されます。それぞれの番組に共通のオープニング・エンディングを付け、一体感のあるフォーマットに落とし込み、「SHIKI-ORIORI(四季折々)」としてシリーズ化します。

「SHIKI-ORIORI(四季折々)」は、日本各地の美しい自然や活気ある祭り、美味しい食、町並み、伝統文化、特産品などの観光資源から、先端技術や産業製品に至るまで、多彩な日本を紹介します。2014 年 11 月 3 日（月）から 2015 年 3 月 28 日（土）までの約 5 ヶ月間にわたり、計 125 時間を放送します。インドネシア、ミャンマーで、多くの方がテレビを視聴する時間帯であるインドネシア時間の毎週月曜日から土曜日の午後 6 時～7 時の固定枠に編成します。

継続的な放送に合わせ、今後の海外における日本コンテンツ展開がより効率よく進むよう、視聴状況に関する調査も行っていく予定です。

日本各地の魅力を定常的に発信することで、日本に対する興味・関心が高まり、海外における日本製品・サービスへの消費拡大や、日本各地への観光客増加など、地域活性化に貢献していきます。

スカパーJSAT は、今後も『WAKUWAKU JAPAN』を通じて、日本の良質な文化を海外に広くお届けするため、新たな展開に取り組んでまいります。

以上

※注 「請負主体」・・・ 当該モデル事業の運営の請負企業・団体